

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
伝承文学演習ⅡA	内藤 久義	2	自然科学系・文化系出版社の編集者、研究教育機関の研究者として勤務。
国語教育学概論Ⅰ	高山 実佐	2	都立高校で授業実践、生徒指導実践等を行ってきた実務経験を活かし、中等教育段階での国語科授業について受講者、現職の先生方、国語教育学関係の研究者とともに考え続けたい。
身体表現文化論Ⅰ	三遊亭 遊吉	2	落語家による授業。実際の落語を通して、江戸文化、また言葉、笑いのパターンなどを知ることが出来る。落語の原点・発生についての理解が可能となる。
日本文学講読Ⅰ	上野 誠	2	萬葉学会編輯長、上代文学会理事等の就任経験から、学会運営の実務についても説明することができます。
日本文学演習ⅠA	斎藤 菜穂子	2	中学校・高等学校でも古典の授業を担当する経験を活かし、正しい読解と豊かな解釈を併せて育てていくことを目指している。
日本語教授法Ⅰ	有賀 千佳子	2	日本語学校等の現場を経て、大学の留学生日本語教育を行う。また、専門職大学院や日本語教師養成講座などで、日本語教員の養成を行う。
国語教育実践研究Ⅰ	齋藤 智哉	2	・学校改革、授業改善への外部助言者（スーパーバイザー）として、年間40日程度、全国の小・中学校を訪問している。
放送文化論Ⅰ	武中 千里	2	講師は公共放送でディレクター・プロデューサーとして40年以上の番組制作経験を持つ。ドキュメンタリー、経済や社会問題についての情報番組、旅・紀行番組、文化・歴史番組など、幅広いジャンルの番組を多数制作、開発してきた。そのテレビ制作者としての苦労や、やりがいなど実体験のエピソードを豊富に交え、メディアを使う巧者となる知恵を身につけ、一方で将来映像制作を志望する学生にも役立つ知識を、わかりやすく伝えたい。また受講学生の映像やテレビに対する意見も幅広く取り入れて講義を行いたい。
書道Ⅰ	横倉 佳男	2	担当教員は、1986年度からで中学・高等学校の教諭として勤務し、授業実践をしている。教育実習生の受入指導を担当した年度もある。生徒指導の実践、校務分掌の責務も果たしてきている実務経験を活かし、教職の意義や教員に求められる資質・能力についての指導を行っている。
伝承文学演習ⅡA	八木橋 伸浩	2	行政において民俗分野の調査や文化財保護業務などに従ってきた経験から、現在も複数の行政で文化財の指定・登録を扱う文化財保護審議会委員や市史編纂の委員としての実務を継続的にこなしている。こうした実務経験の現場で得られる民俗的な知を受講生に還元することも念頭に置きながら指導を行なっている。
伝承文学演習ⅢA	高久 舞	2	これまで自治体史の民俗芸能の項目、民俗芸能に関する自治体の報告書の調査執筆を行ってきた。また、神奈川県教育委員会において無形民俗文化財を担当し、行政サイドから民俗文化財に携わってきた。自身も芸能の演者として活動しており、研究、行政、演者それぞれの経験を踏まえ、授業を行う。
比較口承文芸論Ⅱ	阪口 諒	2	学芸員として勤務した経験のある教員が、資料館や学校での教育活動の経験を活かして、物語に登場する動植物、民具の実物などにも触れながらアイヌ文化への理解を深める科目です。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
日本語学概説I	松本 昂大	2	元日本語教師、現編集者の教員が、実際に日本語学が応用されている現場について、自身の経験をふまえて講義を行う。
日本文学演習II A	塚原 明弘	2	高等学校の教諭をしながら、平安文学の勉強を続けてきました。昼間は現代文の授業をし、夜は『源氏物語』を読む。引き裂かれたからこそたどり着いた視野があります。二足の草鞋の独自性を伝えたいと思っています。
日本文学各論I	杉本 圭司	2	2013年4月、「考える人」（新潮社）に小林秀雄についての長編批評「契りのストラディヴァリウス」を発表。同年から現在に至るまで、小林秀雄をテーマとした講義・講演を各所で実施。2019年9月、「小林秀雄 最後の音楽会」を新潮社より刊行。他に「小林秀雄全集」「小林秀雄全作品」「小林秀雄作品の新潮文庫」（いずれも新潮社）の注釈、「人生の鍛錬 小林秀雄の言葉」（新潮新書）の編集協力など。
日本語教育研究I	植松 容子	2	日本語学校および大学における留学生を対象とした日本語教育経験に基づき、具体的な事例を交えて授業を実施します。
表現文化論I	杉本 圭司	2	2013年4月、「考える人」（新潮社）に小林秀雄についての長編批評「契りのストラディヴァリウス」を発表。同年から現在に至るまで、小林秀雄をテーマとした講義・講演を各所で実施。2019年9月、「小林秀雄 最後の音楽会」を新潮社より刊行。他に「小林秀雄全集」「小林秀雄全作品」「小林秀雄作品の新潮文庫」（いずれも新潮社）の注釈、「人生の鍛錬 小林秀雄の言葉」（新潮新書）の編集協力など。
古筆学	中村 健太郎	2	学芸員として実務経験あり。大学共同機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館において機関研究員、資料評価委員、文献調査委員として調査研究に従事し、国宝や重要文化財の指定文化財を含む書跡資料の調査および展示業務に従事した。また、帝京大学総合博物館における書跡資料の展示企画にも参加する。
出版文化論I	林 武利	2	担当教員は、株式会社角川書店にて社長秘書として出版ビジネスの中枢に携わった後、同広告宣伝部を経て独立起業し、雑誌のプロデューサーとして企画・編集・制作・販促を実践してきました。さらに翻訳出版を専門とする出版社の経営歴は28年に及び、現在も代表取締役として現場を統括しています。授業では実例を通じて「企画は読者・市場・流通の接点で成立する」ことを体得する機会を提供します。
日本書道史I	金子 馨	2	学芸員として実務経験あり。
専門科目の合計単位数		40	単位

文学部 中国文学科

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
中国古典と民俗文化Ⅰ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国民俗文化と心Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
専門科目の合計単位数		4	単位

文学部 外国語文化学科

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
フランス語演習II A	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習II B	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語展開演習 B	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
ドイツ語展開演習 B	小笠原 藤子	2	各種資格試験に携わっている経験から、よりの確な指導をすることができる
フランス語演習I A	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習I B	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習 A	笠間 直穂子	2	文筆家としての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習 B	笠間 直穂子	2	文筆家としての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
専門科目の合計単位数		16	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
史学基礎演習Ⅰ	榎本 博	2	地域博物館の学芸員として、地域にのこされる古文書・歴史資料の収集・保存・調査研究・展示、市民への教育普及に関わる実務を行っている。かかる経験を活かし指導する。
史学展開演習Ⅰ(日本史)	手塚 雄太	2	博物館学芸員・自治体史編さん事業事務局職員としての実務経験を有する。また、現に博物館・自治体史などに係わる審議会委員等を務めている。
史料講読Ⅰ	内山 京子	2	伝記史料の編纂・公刊事業の実務経験を有する。
考古学調査法Ⅰ	佐藤 雅一	2	新潟県津南町教育委員会で旧石器時代や縄文時代の遺跡調査に従事。国指定史跡の申請作業や文化財の普及啓発事業など埋蔵文化財保護行政を担当。
史学専門講義(日本史)	吉田 律人	2	横浜市発展記念館主任調査研究員(学芸員兼アーキビスト)。博物館及び文書館施設に勤務するほか、自治体史の編纂事業にも従事。
史学専門講義(考古学)	大工原 豊	2	地方公共団体での埋蔵文化財専門職員および博物館学芸員としての26年間の実務経験を活かし、具体的事例を多数紹介しながら授業を行う。また、講義のテーマだけでなく、遺跡の調査や遺物整理、調査報告書作成についての合理的方法についての講義も行う。
考古科学	工藤 雄一郎	2	博物館職員としての実務経験を有する教員が、考古学における自然科学的分析手法に関わる実務経験を活かし、植物考古学について教育を行う。
日本文化史Ⅰ	菅根 幸裕	2	博物館学芸員等としての実務経験を有する教員が、日本の伝統文化・民俗に関わる実務経験を活かし、文化史についての教育を行う。
地域からみた日本の歴史Ⅲ	榎本 博	2	講師は、地域博物館の学芸員として、地域に遺される古文書・歴史資料の収集・保存・調査研究・展示のほか、市民への教育普及やまちづくりに関わる実務を行っている。また、市町村史の編さんにも携わり、各種資料を日々取り扱っている。かかる経験を織り交ぜながら講義を進めていきたい。
考古学各論Ⅶ	水本 和美	2	國學院大學修士。都市遺跡(江戸遺跡)の発掘・整理調査・研究。陶磁器、金属等の遺物研究。博物館における資料管理・展示・教育普及。自然科学分析。博物館の開設。環境アセスメント等委員(史跡・文化財)。
考古学各論Ⅶ	青木 敬	2	奈良文化財研究所で飛鳥・藤原・平城などの古代宮都や官衙の調査・研究に従事してきた経験をふまえ、これら発掘調査例を紹介しながら研究の方法について解説する。
文化景観各論Ⅱ	佐々木 健策	2	地方公務員としての経験を踏まえ、公務員としての歴史学との関わり方や地域の歴史の見方、研究法を例示します。
考古学調査法Ⅰ	青木 敬	2	府中市遺跡調査会・奈良文化財研究所で古墳・都城・寺院などの発掘調査、鎌倉市教育委員会で埋蔵文化財保護行政を担当。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
史学専門講義（考古学）	石橋 宏	2	大学時代から古墳時代研究の埋葬施設研究を進め、25年になります。これまでに古墳の発掘調査や報告書の作成に積極的に参加するとともに、古墳時代の棺を中心に論文を発表し、現在も研究を進めています。現在は公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターの専門職員として、発掘調査や展示に携わっております。授業では、発掘調査や報告書作成時に気づいて、研究のヒントとなった体験も紹介し、考古学を学ぶおもしろさを伝えたいと考えております。
史学専門講義（地域文化と景観）	佐々木 健策	2	地方公務員としての経験を踏まえ、公務員の立場での歴史学との関わり方や地域の歴史の見方、研究法を例示します。
日本史概論I	高橋 秀樹	2	授業担当者は、本学着任までの約18年間、文部科学省の教科書調査官として、日本史教科書の検定調査に従事していた。
日本時代史VII	高橋 亮一	2	北海道の自治体史編さん、大学等の地域学に携わっている。
考古学各論III	寺前 直人	2	埋蔵文化財を扱う専門職の経験がある。
自然地理学	小松 陽介	2	防災科学技術研究所での研究員としての実務経験を有する教員が、自然環境に関わる実務経験を活かし、自然地理学についての教育を行う。
史学専門講義（考古学）	植田 真	2	縄文原体の研究を本格的に始めて16年になります。これまでに縄文原体に関する論文をいくつか発表し、新しい将来の原体研究方法について模索しています。本授業も開講してから今年で11年となりました。自分自身は測量技術を専門とする株式会社パスコで遺跡調査現場の最前線に立って発掘調査を続けながら、考古学における測量技術の発展について40年近くに亘り考えて続けて来ました。自身でも個人事業主として「縄文原体研究所」を設立して活動を始めています。隔年ですが、史学情報処理(中級)の授業は考古学における測量技術の歴史と最前線を紹介する授業として30年が経過しました。本授業でもこれまでの業務経験も紹介しながら、学生諸君が考古学を学ぶモチベーションを上げたいと考えています。
専門科目の合計単位数		40	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
美学・芸術学特殊講義IA	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史フリーランスのライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い視点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学特殊講義IB	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史フリーランスのライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い観点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学演習	藤澤 紫	4	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
日本美術史 A	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
日本美術史 B	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
西洋美術史 A	新倉 慎右	2	学芸員
西洋美術史 B	新倉 慎右	2	学芸員
日本美術史 A	洲脇 朝佳	2	学芸員として現在勤務している経験を活かし、作品鑑賞のコツから文化財保護の動向、最新の展覧会情報も紹介する。
美学・芸術学特殊講義II A	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
美学・芸術学特殊講義ⅡB	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
基礎演習ⅡA	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
基礎演習ⅡB	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
専門科目の合計単位数		26	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
(専) 行政法応用演習II	金塚 彩乃	2	講師は、日本とフランスの弁護士の資格を有し、日本における行政訴訟実務、フランス公法の研究を行い、実務的観点を含め日本の行政訴訟のあり方を検討している。
地域研究演習 (イギリス・オーストラリアの法と社会)	ジョン・ミドルトン	2	オーストラリアおよびニューヨーク州において弁護士登録をしている。
フィールドワーク (取材学)	岩田 一平	2	朝日新聞記者、週刊朝日副編集長、アサヒカメラ編集長、朝日新書編集長を歴任。マスコミ採用選考の作文を指導するペンの森株式会社代表取締役。2024年3月刊の『週刊朝日101年史』(朝日新聞出版)を編集・執筆した。著書に『「欠点」を「強味」に変える就活力』(サンマーク出版)、『縄文人は飲んべえだった』(朝日新書)、『ハイテクで解く縄文の謎』(大日本図書)、『珍説奇説の邪馬台国』(講談社)、『遺跡を楽しもう』(岩波ジュニア新書)。
行政と市民生活(行政・地方自治のしくみと政策)	稲垣 浩	2	横須賀市都市政策研究所(横須賀市職員)として市政研究に従事。そのほか、北海道、相模原市、人事院など自治体での審議会委員、研修講師等の経験あり。
法と社会参加 (ワークルール入門)	本久 洋一	2	北海道労働委員会公益委員、神奈川県労働委員会公益委員(現職)
法教育入門	今井 秀智	2	担当者は弁護士であり、紛争解決のための「ものさし(解決基準)」の必要性を考え、法やルールがなぜあるのか、なぜ守らなければならないのか、守らなかったときに制裁が加えられるのはなぜかなどの考察を通じて、法や司法制度の根源的価値を学ぶ授業である。立憲主義教育、シチズンシップ教育にも検討・考察対象を広げている。
企業法務	友松 義信	2	信託銀行で企業コンプライアンスに長く携わるとともに、信託の研究を通じて学者・弁護士等と様々なファイナンス手法やコーポレート・ガバナンスに関する知見を得ることができました。それらを受講生の皆さんに共有して頂き、知見として今後の学習や社会生活に役立てて頂くことを期待しています。
公共政策	西岡 隆	2	講師は、約30年、厚生労働省などの仕事をした上で、2025年1月から大分県臼杵市長として自治体運営の舵取りをしている。厚生労働省の数理職員として、長らく、年金数理の専門家として、公的年金財政や医療保険改革などに関わってきた他、厚生労働省から大分県臼杵市に出向し、過疎が進む地方として地域の持続可能性を高める取り組みに関わってきた。
心理学A	伊澤 冬子	2	臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有し、教育機関および医療機関での心理職として心理面接・コンサルテーションを担当した経験のある教員が、心の仕組みと働きについて学修する授業を行う。
法と社会参加 (企業での活動と法)	花田 弘介	2	担当教員は、民間企業にて法務部員を経験した後に弁護士となり、現在は一般民事を中心に、企業法務や刑事事件等も含めて幅広く弁護士業務に従事している。このような経験を踏まえて、経済生活・経済活動にかかわる法制度や法規の基本的な事項について、基礎的な知識の習得を目指す授業である。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
消費者法	竹谷 啓子	2	2011年から現在に至るまで消費生活相談員として勤務（2017年からは独立行政法人国民生活センター相談情報部に勤務）し、消費者問題の最前線で消費者への助言やあっせん業務に携わっています。
法と社会参加（自治体における法実務）	阿部 哲也	2	担当教員は、東京都特別区で勤務する職員であり、法務、福祉行政等に関する実務を経験しています。このような経験を踏まえて、実務的観点から解説を行うことを通じ、法に関する基礎的な知識の修得を目指します。
政治と社会参加（アジア・アフリカから考える日本）	兼川 千春	2	東京都杉並区国際交流協会ボランティア、在イエメン日本大使館草の根無償外部委託調査員、東アジア移住共生映画祭（現・東アジア市民共生映画祭）企画実行員、茶道裏千家淡交会ハノイ同好会幹事長兼指導者、国連インターナショナルスクール・ハノイ校での日本語教師など。
地域研究（フィンランドの政治）	柴山 由理子	2	フィンランド企業に10年勤務しうち5年をフィンランド本社で勤務した経験をもとに、フィンランド社会について解説する。
NPO論	重田 康博	2	担当教員は、民間企業、政府の特殊法人、外務省の財団法人、イギリスのNGO、国際協力NGO、大学などで働いてきた経験を基に、授業を実践的に行う予定である。
心理学B	内村 慶士	2	臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有し、心理相談施設での実践経験のある教員が、自分自身や身の回りの物事の理解に役立つ基礎心理学について学修する授業を行う。
法と社会参加（高齢者の財産管理における法律実務）	浦町 謙太郎	2	講師は、司法書士、行政書士、マンション管理士として成年後見や民事信託等の高齢者・障害者の財産管理をはじめ、相続、不動産登記、商業登記、会社法務、債務整理、マンション管理等の法律事務に従事しています。
（専）知的財産法	加藤 浩	2	・特許庁において20年間の特許審査・審判に関する実務経験がある。 ・弁理士として18年間の実務経験がある。 ・大学において18年間、特許の技術移転や産学連携の実務経験がある。
法と社会参加（法律家のように考える）	堀岡 和正	2	担当教員は、司法試験合格後、一旦は研究者を志したが、弁護士に転身した。札幌市の弁護士10人前後の法律事務所に約10年勤務した後、2020年に富山市で法律事務所を開業した。現在は一般民事を中心に弁護士業務を行っているが、裁判所から破産管財人に選任されることが多い。刑事事件（暴行）で、無罪（正当防衛）を獲得した経験がある。その他、現在は、富山県精神医療審査会の委員、富山市の行政不服審査会の審理員を務めている。
経済法A	鈴木 健太	2	講師は、独占禁止法を専門的に運用する国の行政機関である公正取引委員会（内閣府の外局）に勤務している国家公務員であることから、実務家としての経験・認識（独占禁止法に限らない）についても紹介していくこととしたいと思います。
日本外交史A	冨塚 一彦	2	外務省外交史料館において長年、外交史料集『日本外交文書』の編集を担当してきた。特に戦前期の日中関係を主として担当してきたので、重要な関係史料を数多く紹介していきたい。
	専門科目の合計単位数	42	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
社会経済学	日臺 健雄	2	2003年5月～2004年3月：国際金融情報センター 研究員 2005年3月～2007年3月：外務省 在ロシア日本国大使館 専門調査員 2007年4月～2009年9月：国際金融情報センター 研究員
データ管理	三ツ矢 眞紀	2	電気メーカーの営業部門にて、Accessを利用したデータベースの構築と運用管理、及び部署内のパソコン教育を担当。1998年から資格の学校等で、情報処理技術者試験の試験対策講座を担当（現在はITパスポート講座、情報セキュリティマネジメント講座を担当）。
世界経済入門	高橋 克秀	2	日本経済新聞記者
アジア経済史	高橋 克秀	2	日本経済新聞記者として国際経済の取材経験豊富。
経済学特殊講義（証券アナリスト）	福田 徹	2	講師は、現役で上場企業の証券アナリストレポートを書いている。上場のアドバイス、上場企業のInvestor Relationsのコンサルティングも行っている。直近ではESG、統合報告書のアドバイスもしている。
専門資格取得指導（入門）	福田 徹	2	今まで、複数の会社を経営（経営コンサルティング、海外航空会社、AI研修会社等）してきた。日本FP協会にて雑誌への投稿、学生向け研修を実施。他大学で財務分析、証券分析、コーポレートガバナンスの講義を実施中。CFP、1級FPを取得し、FP業務も行う。上場企業の社外役員を数社経験、上場アドバイスも実施中。
専門科目の合計単位数		12	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
マーケティング	白鳥 和生	2	元日本経済新聞記者
国際会計	関根 俊	2	米国・日本において、米国証券取引委員会（SEC）登録企業を含む米国および日本企業の会計監査に従事した後、2001年から主にグローバル企業に対してIFRSの知見も生かして広範囲なM&A関連サービスを提供しており、本講義では理論と実務の両面からIFRSを解説していく。シカゴ大学経営大学院修士課程修了（MBA）。米国公認会計士（カリフォルニア州）
プログラミング	岡田 長治	2	IT企業での実務経験を持つ担当教員が、プログラミングの基礎知識を講義する。
流通論	矢嶋 剛	2	流通システムの研究：社団法人流通問題研究協会在籍時に、流通機能連携（例 製配販連携、日本版ECR等）についての調査研究。共著に『医薬品流通論』（東京大学出版会、ISBN 4130401971）
企業監査	石黒 良一	2	担当教員は、監査法人に所属し、公認会計士として監査業務に従事しています。
ビジネスソリューション	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験のある教員が、コンサル実務を踏まえて指導を行う。
税務会計	日野 雅彦	2	国家公務員として国税の事務に従事してきた経験を活かした授業を行いたいと思います。
企業法	原 省三	2	長年にわたり、国税職員として企業の法人税調査や課税争訟事務に従事してきました。講義においては、これまでの経験を踏まえ、企業活動に関わる課税問題についても言及したいと思います。
ベンチャービジネス	小野 正人	2	ベンチャーキャピタル、金融機関等に20年以上の実務経験のある教員が、業務の経験を活用しながら講義を運営します。ベンチャービジネスの経営の実例やケーススタディを用いて、受講者に現実を理解させるように努めます。
ビジネスリサーチ	鈴木 智之	2	データ分析を用いた経営コンサルティング経験と起業経験を有する教員が担当する。
現代ビジネス	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験をもつ教員が、実務経験を踏まえて指導を行う
人的資源管理	鈴木 智之	2	経営コンサルティング経験と人的資源管理に関連した起業経験を有する教員が担当する。
組織行動	辻 和洋	2	・読売新聞大阪本社記者、産業能率大学総合研究所職員などを歴任・職場内のプロジェクトリーダーとして成果を残した経験がある・組織開発のチェンジエージェントとして学校教員の働き方改善を実践した経験がある
公会計	金子 良太	2	担当教員は、公会計分野における実務経験を有しています。
情報システム	高橋 尚子	2	ICT企業での実務経験を持つ担当教員が、ICT社会における情報システムとこれからのスマート社会について解説する授業である。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
広告論	端 義幸	2	大手電機メーカーで30年以上、広告、コミュニケーション、マーケティングの実務に関わってきた。その後5年間化粧品会社でインスタグラム立上げ、PR等のコミュニケーション業務に携わってきた。そういった経験やネットワークを活かして、より実践的で社会にでて役に立つ授業にしていきたいと考えている。
専門科目の合計単位数		32	単位

神道文化学部

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
神道概論I	菅 浩二	2	担当教員は非常勤ながら現任神職である。
神道教化概論I	新井 君美	2	神社本庁教学研究所、その後は渉外部渉外課長を経て、現在は秩父神社を本務とするほか兼務4社の宮司、埼玉県神社庁研修所講師などを兼務し後進の指導にあたっている。鎮守の森コミュニティ研究所特別研究員、社会保険労務士資格保有など。
神道教学特論	小平 美香	2	現任の神職として、神社での教化活動の経験を活かし、実践的な授業を行う。
神社管理特論	新井 君美	2	労務管理および労働社会保険関係諸法令を専門とする社会保険労務士資格を保有。神社本庁教学研究所、渉外部渉外課長を経て、現在は秩父神社を本務として埼玉県神社庁研修所講師を兼務するなど後進の指導にあたっている。
宗教考古学I	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
神社管理研究I	岡市 仁志	2	現在、神社本庁総合研究部研究祭務課長として勤務
神道と国際交流II(2)	岩橋 克二	2	担当教員は現任神職で、神社本庁の国際交流実務担当の職員・責任者として、第一線で活動した経験を有する。学生は、教員の実務経験に即した課題意識に導かれながら、国際交流とは何か、日本文化や他国・他宗教の知識、英語で表現できること・できないこと、これまで神社神道が行ってきた国際交流、について学び、交流実践に必要な力を身につける。
神道と環境II	菅 浩二	2	教員は非常勤であるが現任神職である
古典講読IA	武田 秀章	2	神社新報社、神社本庁で実務経験。
神道史学IIA	武田 秀章	2	神社新報社、神社本庁で実務経験あり。
神社管理研究I	藤本 頼生	2	神社本庁において平成9～23年まで14年間、神社実務に関する奉職経験有。
神道と書道I	高橋 智紀	2	高等学校教員として芸術科書道の授業を長年担当。楷書・行書をはじめとする各書体および篆刻・仮名などの書道分野を広く得意としている。賞状類・講演会演題等の筆耕経験が豊富であるほか、高等学校芸術科書道の教科書で硬筆ページを執筆している。
神社実務演習	宮澤 佳廣	2	担当教員は、神社本庁等で法人組織運営の実務経験を有する現任神職である。学生は、神社管理運営に直接携わる者としての教学的心得と共に、関係法規ほか法人運営上のさまざまな知識の理解を教授され、神社の公共性と神道信仰について、実務を踏まえて考え学ぶ。

神道文化学部

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
現代時局論	藤田大誠	2	現在、本学専任教員の傍ら、長年に亙つて神社神道関係（神職養成を含む）の諸委員や講師などを務める中で、各種の講習や研修、講演、研究会の講師・発題者、各種原稿の執筆者となり、通信教育にも携はつてきた経験を踏まへ、神道史や宗教史、日本の伝統文化、教育史（教育文化）、体育・スポーツ史（スポーツ文化）、日本近現代史などに関する授業に取り組んでゐる。
宗教考古学I	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
祝詞作文I	岸川 雅範	2	神職として日々、御神前にて祭祀を行い、参拝者の参列する中で祈願に奉仕している。
仏教文化研究I	大澤 広嗣	2	講師は、文部科学省（東京都千代田区霞が関）のなかにある文化庁で、宗務行政に研究官として従事する現役の国家公務員です。行政実務で得た最新の知見をもとに講義を進めます。
専門科目の合計単位数		34	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
教育課程論（小）	萩野 奈幹	2	私学中・高等学校（音楽科）、公??学校(担任)・中学校教諭（その間、教職大学院）を経て、兵庫県立総合教育センターにおいて主任指導主事として、若手、中堅、管理職研修、教員採用を担当し、令和7年度より本学部にて教員養成に携わっている。専?は、道徳教育学、教育哲学、教育方法、教育評価である。
初等科教育法（国語）	成田 信子	2	小学校学級担任小学校教諭として、授業全般を担当し、主にことば、国語科についての実践研究を行った。
初等科教育法（算数）	見浦 佳葉	2	広島市立公立小学校及び広島大学附属小学校において教諭（学級担任・算数専科）の経験があります。
初等科教育法（理科）	寺本 貴啓	2	静岡県小学校、中学校教諭の経験を活かして、実践的な理科教育を教えた。
初等科教育法（生活）	三田 大樹	2	東京都公立学校教諭、副校長、教育委員会での統括指導主事、主任指導主事の経験を活かして、実践的で実際の学校現場における指導のイメージがもてる講義に努めます。
初等科教育法（図工）	山成 美穂	2	・公立小学校における臨時の図画工作科教員として指導経験（2年間）・公立美術館における子どもアートプログラムの企画・ワークショップ講師（4年間）・子どもアトリエ（絵画・造形）主宰・指導経験（20年間）・重度知的障害者デイケアセンターにおける創作活動始動（3年間）・ドイツの青少年芸術学校におけるインターン（4年間）・4年制大学と短期大学の保育者養成・教員養成課程における指導法および実技の指導（11年間）
初等科教育法（体育）	小磯 透	2	学校現場(小・中・高の教員、教育実習指導多)、教委・文部科学省の委員など実務経験豊富、大学、大学院での教員養成実績も豊富。
道徳教育の理論と方法（小）	萩野 奈幹	2	私学中・高等学校（音楽科）、公??(担任)・中学校教諭（その間、教職大学院）を経て、兵庫県立総合教育センターにおいて主任指導主事として、若手、中堅、管理職研修、教員採用を担当し、令和7年度より本学部にて教員養成に携わっている。専?は、道徳教育学、教育哲学、教育方法、教育評価である。
特別活動の理論と方法（小）	杉田 洋	2	さいたま市立小学校教諭、国立教育政策研究所、文部科学省での勤務の経験を活かして、実践的で、公的根拠に裏付けられた特別活動の授業を実施。
幼児理解の理論と方法	松山 洋平	2	幼稚園教諭として9年実務経験のある教員が実践での事例を踏まえながら講義を行う。
国語概説	成田 信子	2	小学校教員
算数概説	見浦 佳葉	2	広島市立公立小学校及び広島大学附属小学校において教諭（学級担任・算数専科）の経験があります。
生活科概説	三田 大樹	2	東京都公立学校教諭、副校長、教育委員会での統括指導主事、主任指導主事の経験を活かして、実践的で実際の学校現場における指導のイメージがもてる講義に努めます。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
図工概説	山成 美穂	2	・公立小学校における臨時の図画工作科教員として指導経験（2年間）・公立美術館における子どもアートプログラムの企画・ワークショップ講師（4年間）・子どもアトリエ（絵画・造形）主宰・指導経験（20年間）・重度知的障害者デイケアセンターにおける創作活動始動（3年間）・ドイツの青少年芸術学校におけるインターン（4年間）・4年制大学と短期大学の保育者養成・教員養成課程における指導法および実技の指導（11年間）
幼児と言葉	和田 美香	2	保育士、幼稚園教諭の経験を生かし、児童文化についての知識のみならず、保育場面での活用についての演習も取り入れながら授業を展開する。
幼児と健康	西村 実穂	2	保育所保育士や小児看護師の経験を踏まえて、基礎的な知識に加え、事例や指導の実際などの現場をイメージできるように授業を行う。
幼児と環境	中野 圭祐	2	幼稚園教諭として実務経験のある教員が行う
教育の方法と技術（小）	萩野 奈幹	2	私学中・高等学校（音楽科）、公??学校(担任)・中学校教諭（その間、教職大学院）を経て、兵庫県立総合教育センターにおいて主任指導主事として、若手、中堅、管理職研修、教員採用を担当し、令和7年度より本学部にて教員養成に携わっている。専?は、道徳教育学、教育哲学、教育方法、教育評価である。
授業アセスメント論	見浦 佳葉	2	広島市立公立小学校及び広島大学附属小学校において（学級担任・算数専科）の経験があります。
特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会	高橋 幸子	2	小学校教諭、特別支援学校教諭として教育実践に取り組んだ実務の経験を生かした授業展開を行う。特に介護等体験実施に向けて学校や福祉現場への理解を促し、具体的な配慮等について指導する。
	専門科目の合計単位数	40	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
バイオメカニクス	神事 努	2	国立スポーツ科学センターに在籍し、アスリートをバイオメカニクスの観点からサポートしている教員が、力学の基礎概念を理解でき、バイオメカニクスの分析、評価法の基礎が理解できることを目標とした授業を行なっている。
スポーツ心理学	伊藤 英之	2	スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を所有し、アスリートおよびスポーツチームや団体を相手に心理的指導やサポートをしている教員が、スポーツ心理学の基礎的な理論や指導現場での応用について講義する。
救急法	富田 一誠	2	整形外科医、救急医、スポーツ医として豊富な知識と経験を元に講義を行いますna
コーチング論	伊藤 英之	2	スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を所有し、アスリートおよびスポーツチームや団体を相手に心理的指導やサポートをしている教員が、コーチに必要な資質やスキルに関する講義を行なっている。
発育発達論	川田 裕樹	2	健康運動指導士、JATI認定トレーニング指導者資格(JATI-ATI)を有している。
スポーツ行政論	高松 政裕	2	2007年弁護士登録、2014年 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理解増進事業専門員、慶應義塾大学大学院法務研究科講師「スポーツと法」【法科大学院、JD】(2014年～)、「Sports Law and Dispute Resolution」【LLM】(2018～)
アダプテッドスポーツ	岩沼 聡一郎	2	スペシャルオリンピックス日本 アルペンスキー 認定コーチ 23年☒益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事 8年☒本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員(初級) 認定科目担当 9年
健康管理論	富田 一誠	2	医師としての豊富な知識と経験を元に講義を行います
コンディショニング	富田 一誠	2	整形外科医、スポーツ医として豊富な知識と経験を元に講義を行います。
スポーツ医学	富田 一誠	2	日本オリンピック委員会医学サポート部員、野球日本代表チームドクター、スポーツ医、整形外科医として豊富な知識と経験を元に講義を行います
スポーツと法	高松 政裕	2	2007年弁護士登録、2014年 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理解増進事業専門員、慶應義塾大学大学院法務研究科講師「スポーツと法」【法科大学院、JD】(2014年～)、「Sports Law and Dispute Resolution」【LLM】(2018～)
メンタルトレーニング論	伊藤 英之	2	メンタルトレーニング指導士の資格を所有し、様々な競技の団体や個人へのメンタルトレーニング指導やメンタルサポートを実施している。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
スポーツアナリティクス	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が実務経験を踏まえ、スポーツアナリティクスの実務上の課題や現状を解説し、効果的に活用するためのポイントについて講じる。
スポーツアナリティクス演習	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が実務経験を踏まえ、ICTを活用した情報処理・活用の実践、研究方法について講じている。
球技ゴール型Ⅰ	イ ウヨン	1	プレーヤー（学生）としての自主性を求める内容が多いことから、自分が将来、教える側になることを想定しながら授業に取り組む。
器械運動	笹田 夏実	1	体操競技を16年間選手として活動した経験があります。また、コーチとして選手の競技会帯同および指導経験があります。
武道（柔道）	田村 昌大	1	講道館柔道五段全日本柔道連盟強化委員、コーチ（男女ジュニア、女子シニア）視覚障害者柔道連盟強化副委員長
武道（剣道）	吉田 泰将	1	【教員経歴】公益財団法人 全日本剣道連盟 剣道教士八段九州高等学校剣道大会 団体準優勝（大将）国民体育大会 団体4位全国教職員剣道大会出場 学連剣友剣道大会 団体準優勝2回皇宮警察創立110年記念武道大会剣道競技（天覧試合）出場 寛仁親王杯剣道八段選抜大会 平成22年度から10年連続出場（優秀試合者賞1回）
球技ベースボール型	勝亦 陽一	1	小学生から成人まで、幅広い年代の野球選手の指導に携わっている。特に、投げる・捕る・打つ・走るといった各動作に関するコーチングについて、研究および実践の経験を有する。また、子どもの遊び場としての野球場開放や、野球遊びができる環境整備にも取り組んでいる。
体づくり運動	大塚 隆	1	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編協力者としての実務経験をいかし、運動指導にあたります。
スポーツバイオメカニクス演習	神事 努	2	国立スポーツ科学センターに在籍し、実際にアスリートの動作分析を行っている教員が、動作分析の原理とその限界について受講学生が理解できることを目標とした授業を展開している。
スポーツ心理学演習	伊藤 英之	2	スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を所有し、アスリートおよびスポーツチームや団体を相手に心理的指導やサポートをしている教員が、スポーツ場面での心理調査の方法や、心理学実験の方法を講義している。
メンタルヘルス	伊藤 英之	2	メンタルトレーニング指導士として、小学生～社会人のスポーツ実施者に心理的支援を行っている。
専門科目の合計単位数		40	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
保育原理	西村 実穂	2	保育所保育士としての経験や巡回相談の経験を踏まえて、基礎的な知識に加え、事例や指導の実際などの現場をイメージできるよう授業を行う。
教育課程論（幼）	河合 優子	2	東京都公立幼稚園教諭、園長及び国家公務員として主に幼稚園教育要領に関する実務経験を生かして授業を行う。
障害児保育I	野澤 純子	2	保育巡回相談、特別支援学校、児童発達支援領域の心理士経験を生かして、基礎的情報に加え、事例や指導の実際などの具体的な授業を展開する。
保育内容（健康）	梶島 香代	2	文京学院大学ふじみ野幼稚園および文京幼稚園二園アドバイザー文京学院大学保育実践研究センター「ふらっと文京」教員研究員
保育内容（人間関係）	梶島 香代	2	（社）日本児童手当協会 こどもの城保育研究開発部で3歳未満児の保育、子育て支援など、東京学芸大学教育学部附属幼稚園教諭として保育現場経験がある。
保育内容（環境）	中野 圭祐	2	幼稚園での実務経験のある教員が授業を行う
保育内容（言葉）	成田 信子	2	幼稚園・小学校での教員としての経験を生かし、乳幼児期から小学校入門期の言葉の発達やそれを支える保育者の支援、また言葉を育む指導について、理論面と実践面の両面から講義を行う。
カウンセリング概論	野澤 純子	2	公認心理師、臨床発達心理士としての心理臨床活動、児童発達支援センター心理相談、保育・学校巡回相談、特別支援教育の経験を生かし、カウンセリングの実際や事例演習などを含む授業を展開する。
臨床発達心理	結城 孝治	2	臨床発達心理士資格を活用し、東京都特別区の幼稚園・保育所の巡回相談を行っている。
社会的養護 I	廣井 雄一	2	児童福祉施設での勤務経験を踏まえ、授業を進めていく。
社会的養護 II	麻生 信也	2	児童養護施設の職員、児童養護施設の施設長学童保育の責任者
子育て支援システム論	渡辺 英則	2	認定こども園と私立幼稚園の園長児童発達支援事業や子育て支援拠点にも関係した活動も行っている
コミュニティ支援論	山瀬 範子	2	児童福祉施設での勤務経験、小学校学校評議員等の経験がある教員が指導に関わる。
子育て支援	野澤 純子	2	児童発達支援センター心理相談員、保育巡回相談の経験を生かして、基礎的情報に加え、事例や指導の実際などの具体的な講義を展開する。
保育内容研究	河合 優子	2	公立幼稚園教諭、園長及び国家公務員として主に幼稚園教育要領に関する実務経験を生かして授業を行う。
うたとオペレッタ	中野 圭祐	2	幼稚園で保育経験のある教員が指導を行う
専門科目の合計単位数		32	単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
民俗学概論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を?かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
地域文化創造論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を?かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
田園回帰論	嵩 和雄	2	熊本県阿蘇郡において9年間都市農村交流事業、人材育成事業、旅行商品づくりの企画・運営に従事後、国内最大の地方移住支援を行うNPOにおいて11年間移住相談をはじめ、移住に関わる政策立案、起業支援、人材育成、研修事業等を行ってきた知見とネットワークを活かし、実践的な授業を行う。
運輸・観光実践論	後藤 靖子	2	国家公務員（国土交通省）として観光政策や交通政策の立案、実践に携わる。その間、政府観光局（JNTO）ニューヨーク事務所長としてインバウンド誘致を最前線で取り組み、山形県副知事として自治体行政を実践。その後JR九州常務取締役として鉄道・観光ビジネスを実践。九州観光推進機構エグゼクティブアドバイザーや地域アドバイザーなども経験。現在は、資生堂、デンソー、三井化学の社外役員として、企業統治の一翼を担っている。
プログラミングと数学基礎	仲野 潤一	2	職業プログラマーとして10年以上のプログラミング経験を持ち、加えて数学や計算機科学などの学問的知識を用いてゲーム・サイネージ・教育ソフトウェア・インタラクティブコンテンツ等の開発をデータ駆動形で行ってきた経験から、プログラミング・数学について学修する講義を行う。
質的調査法	牧野 修也	2	専門社会調査士
データサイエンス	仲野 潤一	2	職業プログラマーとして10年以上のプログラミング経験を持ち、加えて数学や計算機科学などの学問的知識を用いてゲーム・サイネージ・教育ソフトウェア・インタラクティブコンテンツ等の開発をデータ駆動形で行ってきた経験から、データサイエンスについての講義を行う。
交通計画	大門 創	2	技術士（建設部門）資格保有者として、国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
リノベーション論	椎原 晶子	2	横浜市、東京都、台東区等における歴史を活かしたまちづくり、古民家再生のための調査、計画、設計、企画運営等に携わっている。
観光マーケティング	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。

観光まちづくり学部 観光まちづくり学科

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
観光事業論	小林 裕和	2	教員は旅行業、鉄道業、海外勤務など観光事業における実務経験を有する。観光DX、宿泊DXなど国や東京都などの観光政策に関連する委員なども行っている。
旅行産業論	小林 裕和	2	教員は旅行業に従事した実務経験がある。カウンター販売、法人営業、添乗、経営企画、事業開発、訪日インバウンド旅行、香港・オランダにおける海外勤務など。
宿泊産業論	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。
不動産投資論	太田 雅文	2	本授業は、講師の東京急行電鉄における1984年からの業務経験（鉄道、都市開発、リテール）に基づく。
博物館教育論	市村 真実	2	世田谷区などの地域博物館学芸員としての実務経験をふまえ、博物館教育の意義や取り組みについて、実際の事例を基にした講義を行う。
博物館情報・メディア論	鈴木 卓治	2	歴史系博物館において、研究・展示・広報を支援する情報システムを研究するとともに、常設展・企画展における情報コンテンツの開発・提供に携わっている。
都市と地域の交通	大門 創	2	技術士（建設部門）資格保有者として、国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
アートと地域振興	椎原 晶子	2	台東区谷中界限や東京東部にて、古民家の再生やまちづくりと連動する形でのアート企画の運営に参画。旧平櫛田中邸での文化芸術活動サポート、谷中界限で1993年より行われる「藝工展」、2020年より開始の「東京ビエンナーレ」等。
地域の観光情報メディア	吉澤 清良	2	旅行・観光分野の調査研究機関である（公財）日本交通公社に研究員として長年勤務し、主に地域の観光計画や戦略の策定等を行う。またその一環で自治体や観光協会などの情報発信の推進にも携わる。2021～22年度には同財団の運営する「旅の図書館」の館長（2021～22年度）を務めた。2023年度以降は大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学サステイナビリティ観光学部に勤務し、教育（授業）のほか、大分県内を中心に社会連携・地域連携活動に取り組む。
専門科目の合計単位数		38	単位